

2017年7月24日

第39号

全労連

全労連

憲法・平和グループ

憲法

平和闘争ニュース

原水爆禁止世界大会・長崎まで2週間 歴史的な世界大会成功へ最後の奮闘を！

原水爆禁止世界大会がせまってきました。今年の世界大会は、7月7日に「核兵器禁止条約」が採択されたことを受けた歴史的な大会です。広島・長崎への原爆投下から72年、歴史は大きく音を立てて動き、「核兵器のない世界」への扉がついに開かれました。その流れを作り出した大きな力の一つが、1955年から開かれてきた原水爆禁止世界大会です。毎年、毎年、日本じゅうから「核兵器なくそう」の声と運動を集めて、被爆者を支援し連帯して開かれてきた世界大会の積み重ねが、ここまで歴史をすすめてきました。今年の世界大会は、これまでの運動の成果と教訓を確認し合う歴史的な大会です。

「核兵器禁止条約」の採択は、「核兵器のない世界」へのスタートです。まずは、被爆国の政府として、日本政府に条約への署名・参加を迫らなければなりません。そして、この条約を力に、核兵器保有国に対して、「違法な核兵器を廃棄せよ」と法的に迫る運動をすすめながら、圧倒的な国際世論の力で、核兵器保有国・同盟国の条約への署名・参加を要請していかなければなりません。日本政府・核保有国政府を動かす力は、やっぱり「ヒバクシャ国際署名」です。今年の世界大会は、「核兵器のない世界」にむけ、「ヒバクシャ国際署名」を柱にした新たな運動のスタートを誓い合う大切な大会です。

また、今年の世界大会では、自治体首長から次々と署名への賛同が寄せられ、15県知事を含む746自治体首長にのぼっています(7月23日現在)。核兵器廃絶を求める大きな共同が広がっています。今年の世界大会は、戦争法廃止、共謀罪廃止、安倍改憲反対などの課題と結んで、共同を大きく発展させる契機となる大会です。

このように、今年の世界大会は歴史的な大会です。国連の軍縮担当上級代表の中満泉さんをはじめ、22か国以上の代表が参加します。ところが、参加確認は、まだ目標の6割です。歴史的な意義に見合うものになっていません。あと2週間、最後の奮闘で、必ず目標を達成して大きく成功させましょう。

被爆者の平均年齢は80歳を超えています。被爆者から直接、被爆体験を聞ける大会としても、成功させなければなりません。職場・地域から多くの青年たちを世界大会に送り出し、被爆の実相を学び、平和のバトンをつなぐ大会として、成功させようではありませんか。

★アイルランド大統領、自由党・小沢代表から、メッセージが届いています。長崎チラシとあわせてどうぞ、ご活用ください。

アイルランドの大統領からメッセージ



世界大会実行委員会にアイルランドのマイケル・ヒギンズ大統領から世界大会への連帯メッセージ（全文は次ページ）が届きました。アイルランドは核兵器禁止条約交渉会議で、「みなさんの支持と主張がなければ、われわれはこの地点まで到達することはできなかつただろう」（オブライエン大使）と市民社会の役割を高く評価しました。

ヒギンズ大統領は、「この世界大会の活動とメッセージは、最近、国連でおこなわれた交渉の終結によって大きく強められています。そこでは 122 の国々が核兵器禁止に関する条約に賛成し、採択しました。それは一歩ずつではあっても歴史的な前進であり、責任ある多国間主義の行動力と、万人のために世界を変える私たちの能力とをはっきりと示すものです」と核兵器禁止条約交渉会議を高く評価し、「核兵器禁止条約は、全ての人にとってより安全でより平和な世界に向かって多くの国々と市民社会がともに活動することによって、被爆者のセツコ・サーローさんが今年 3 月ニューヨークで描いた未来を実現することが可能だという強力なシグナルを発しています。それは、『もう誰も核兵器の非人道的で言葉に尽くせない被害を経験することのない』未来です。私は、この世界大会と参加者のみなさんが未来に続く大きな成功を収めることを願っています」と大会成功への期待を述べています。

原水爆禁止 2017 年世界大会へのアイルランド・

マイケル・ヒギンズ大統領からのメッセージ

原水爆禁止世界大会の多大なご努力に連帯のメッセージを送り、アイルランドの支持をお伝えする機会をいただいたことを名誉とし、感謝いたします。

アイルランドは核兵器のない世界を実現する願いをともにし、その促進を追求いたします。それは、72 年前、広島と長崎の二つの都市でおこった壊滅的な破壊が決して繰り返されないことを確かなものとする世界です。悲しいことにこれらの恐るべき兵器はいまも存在していますが、核軍縮で重要な進展が実現したことは心強いことであり、これが核兵器の完全廃絶へと進むよう願うものです。

この世界大会の活動とメッセージは、最近、国連でおこなわれた交渉の終結によって大きく強められています。そこでは 122 の国々が核兵器禁止に関する条約に賛成し、採択しました。

それは一歩ずつではあっても歴史的な前進であり、責任ある多国間主義の行動力と、万人のために世界を変える私たちの能力とをはっきりと示すものです。核軍備撤廃を求めるアイルランドの揺るぎない伝統の上に、私たちはこの新しい条約が、核不拡散条約を、そして核兵器のない世界という共通の、地球的なビジョンを強く補完するものであると考えています。

私たちは、核兵器の極めて現実的な危険と破滅的な人道的帰結について啓発することは、新しい条約を生み出す上で不可欠であり、これからも続けられなければならないと信じています。私たちは、この分野での世界大会の活動に称賛を送ります。アイルランドはまた、私たち自身の歴史から、被害者や命を失った人々を偲ぶことは集団的な義務であり責任であることを深く理解しています。新しい条約が具体的に被爆者に言及し、称えていること、核兵器の犠牲者の記憶を称え、生存者が二度とこれらの兵器が使われないよう求め、活きた証言をつうじて果たしている核心的役割を称えていることは、胸にしみることであり、まさに適切なことです。

核軍縮で実現した進展は、暴力と紛争によってあまりに多くの人々が命と暮らしを失い、止まるところを知らない脅威があまりにも横行しているいま、新たな希望を表わしています。

核兵器禁止条約は、全ての人にとってより安全でより平和な世界に向かって多くの国々と市民社会がともに活動することによって、被爆者のセツコ・サーローさんが今年 3 月ニューヨークで描いた未来を実現することが可能だという強力なシグナルを発しています。それは、「もう誰も核兵器の非人道的で言葉に尽くせない被害を経験することのない」未来です。私は、この世界大会と参加者のみなさんが未来に続く大きな成功を収めることを願っています。

マイケル・D・ヒギンズ

アイルランド大統領

2017 年 7 月 14 日

自由党の小沢一郎代表からメッセージ

世界大会実行委員会は、核兵器禁止条約の採択を受けて開催される 8 月の原水爆禁止世界大会に、核兵器禁止条約を支持する政党へ、大会へのメッセージを要請しました。自由党の小沢一郎代表からのメッセージを紹介します。

原水爆禁止 2017 年世界大会の開催にあたり、一言ご挨拶申し上げます。まず、はじめに、広島・長崎への原爆投下により犠牲となられた方々に心より哀悼の意を表すると共に、貴委員会の核廃絶に向けた日々の取り組みに対して、深く敬意を表します。

核兵器というのはいわば正当化されることのない「絶対悪」です。人間が、科学技術を悪用し、自分たち自身を滅ぼすために作った、いわば最悪の兵器です。しかし、残念ながら、その最悪の兵器は地球を何回も何回も滅ぼせるほど、世界中に拡散しています。そういう意味で、我々は日々破滅と隣り合わせの状況にあるわけで、何より我々一人ひとりがこのおぞましい現実を直視しなければなりません。

核兵器を保有する国も、実はその兵器そのものが、絶えず敵ではなく、自分たちの国、国民も同時に狙っているのだということをよく理解しないとイケません。核兵器とはそういうものです。

そして、唯一の被爆国である日本。本来、核兵器のない世界のために議論を主導しなければならない立場の日本。そういう意味でこの国の現状はどうでしょうか。今こそ、日本は被爆者の皆さんの声にも真摯に耳を傾け、改めて核のない世界への強く固い意志を示すべきなのではないでしょうか。

私共と致しましても、本日お集りの皆様方と手を携えて、核兵器のない世界を実現すべく、全力で取り組んで参ります。貴会におかれましても、世界平和を目指す専門組織として、引き続き厳しくご教導を賜りたく、心より御願い申し上げます。世界平和の実現に向けて共に頑張りましょう。

自由党代表 **小沢 一郎**

核兵器禁止条約が採択！

核兵器のない世界の実現へ、ナガサキへ集まろう！

核兵器禁止条約が採択されました。「核兵器のない世界」の実現へ、歴史の新たなページが開かれたのです。核兵器国や、その同盟国などをいかに禁止条約に参加させるかが焦点です。8月7～9日に被爆地長崎で開かれる原水爆禁止世界大会に参加して、「核兵器のない世界」実現の声を世界に発信しましょう。

8月 世界大会・長崎 開会総会 8月7日(月) 15:30-18:00
長崎市民会館・体育館&文化ホール

国連、政府代表から核兵器禁止条約の意義を学ぼう！

ことしの世界大会には、国連・核兵器禁止条約交渉会議で交渉をリードした国連、政府代表が参加します。禁止条約が採択された下で、新しい情勢や展望を学べるのはここだけです。



中満 泉
国連軍縮問題担当上級代表



カルロス・アルマーダ
駐日メキシコ大使



マルチン・グリューガー
オーストリア外務省軍縮局次長

おりづるで「核兵器のない世界」実現の決意を示そう！

被爆者のシンボルである「おりづる」をもちよみましょう。国連、政府代表とともに参加者みんなでかかげ、核兵器禁止・廃絶の実現と誓い合います。



<主なプログラム>

オープニング(うたごえ)／開会あいさつ／メッセージ紹介／主催者報告／長崎市長あいさつ／被爆者あいさつ／国連、政府代表発言／核兵器のない世界に向けて行動を、「ヒパクシャ国際署名」の国民的発展めざして／オール沖縄のたたかいに連帯／2017年国民平和大行進全国通し行進者・国際青年リレー行進者



被爆者あいさつ
木戸季市
(日本被団協事務局長)



主催者報告
安齋育郎
(世界大会実行委員会議長団)

2017年国民平和大行進 全国通し行進者・国際青年リレー行進者

2017年の国民平和大行進をけん引する、全国通し行進者と国際青年リレー行進者が揃って登壇します。



8/9 世界大会-長崎 閉会総会(ナガサキデー集会) 8月9日(水)10:30-13:00
長崎市民会館・体育館&文化ホール



<主なプログラム>

オープニング(うたごえ)／連帯あいさつ／政府代表あいさつ／広島・長崎を二度と繰り返さないために／核兵器のない世界へ行動を／核兵器のない世界をめざす被爆国の決意／文化企画 ①沖縄出身のシンガーソングライター、ユキヒロさんのステージ(♪HEIWAの鐘)②合唱構成「ヒバクシャと共に」／長崎決議採択／行動提起／フィナーレ(海外代表、青年、少年少女平和のつどい参加者らが登壇)

草の根の連帯で「核兵器のない世界」実現を

核兵器禁止条約が採択されたもとの、「核兵器のない世界」をどのように実現するのかを熱く討論します。多彩な海外代表とともに、「核兵器のない世界」の実現をめざす地球規模の連帯をつくりましょう。



ジョセフ・ガーソンさん
(アメリカフランス奉仕委員会)



ハンナ・トゥエッデルさん
(イギリス、核軍縮キャンペーン副議長)



イ・ジュンキュさん
(韓国、キョレハナ平和研究センター)



リサ・クラークさん
(国際平和ビュロー共同会長)



スー・コールマン=ヘイゼルダインさん
(オーストラリア先住民核実験被害者)

広島・長崎を二度と繰り返さないために



松谷英子さん
(長崎で被爆)



本田孝也医師
(長崎県保険医協会会長)

全国によびかけ支援する会で闘った長崎原爆訴訟の元原告の松谷英子さん(長崎で被爆)が被爆者の訴えをします。また核兵器の非人道性を告発すべく、長崎への原爆投下とその被害についての報告を本田孝也医師(長崎県保険医協会会長)がおこないます。

政府代表からの発言



マイレン・リベロ(駐日キューバ大使館臨時代理大使)が参加します。

連帯のあいさつ



柿沼トミ子さん(全国地域婦人団体連絡協議会会長)

●核兵器禁止条約に賛成する政党メッセージ



文化企画

- ❖「HEIWAの鐘」をユキヒロさんと歌おう!
- ❖被爆地長崎から
「ヒバクシャと共に」「命をつないで」「忘れ得ぬ夏」
「一人から一人へ」「核廃絶の列車でGO」
- ❖折りづるでフィナーレ

8/8 特別集会:核と基地のない日本、沖縄との連帯を



8月8日(火)13:00~16:00 会場:NBCメディア・ツー(長崎市上町1-35)

主なプログラム:沖縄と核兵器をめぐる歴史と現状/沖縄県知事、名護市長メッセージ紹介(予定)/「オール沖縄」からの訴え:仲里利信衆議院議員/海外代表からの発言/全国の運動交流/文化企画(ユキヒロさん、カチャーシーなど)

問い合わせ先

原水爆禁止世界大会実行委員会

TEL 03-5842-6035 / FAX 03-5842-6033

Web: http://www.antiatom.org/intro_activity/world_conference.html